

事業所 やすらぎの里北小岩 もあ

評価時期 令和5年5月

公表日:令和5年6月1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	利用児童の成長過程や障害の特性に合わせてながら、訓練室の使い方を工夫していく。5名通所の日は、狭さを感じることもある。
	2	職員の配置数は適切であるか	6		通所児童数を踏まえ、曜日によって職員配置数に差はあるが、適切な職員を配置しているが、今後利用児童が増えてくると厳しくなると思う。 職員の入れ替わりがある為、「力」で考えると不足と感ずることがある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	1	その日の利用児童の特性に合わせて、必要な環境を整えていく必要がある。児童の特性によっては、視界に入るものが多すぎて集中できないこともあると感ずる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		午睡の児童と起きている児童の過ごす場所をもう少し分けていきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	通所前後の時間に職員間で気を付けるべき点や振り返りを行い、支援内容の検討を行っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		自己評価結果、連絡帳、面談での聞き取り、送迎時の引継ぎ、電話連絡などにより、ご家族の意向等を確認し、業務改善に繋げています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		当事業所のホームページやブログで公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	実施していない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	感染症対策、手洗い、権利擁護研修などを実施した。今後もスキルアップ研修の機会を増やしていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	1	家族面談やサービス利用計画書を元に、ニーズや課題を把握した上で、個別支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	2	個別に課題分析し取り組んでいる。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	2	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」「家族支援」で示す支援内容から必要な項目を適切に選択し、支援内容を設定している。「地域支援」は、共生型施設の特徴をとりいれ、いろいろな世代の方に見守られ、交流できる環境を整えている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		児童発達支援計画の内容に基づいて、プログラムや課題設定をしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2	個別支援計画を元に保育士を中心に立案し、職員間で情報共有・意見交換している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	4	2	児童発達支援計画書を元に、個別活動と集団活動を組み合わせて実施している。
17	児童発達支援計画に基づき、支援を実施しているか	6		児童発達支援計画書に基づき、実施している。	

	18	児童発達支援計画に記載した目標が達成できているか	6		個々の児童の成長に合わせて目標に取り組み、達成できている。
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		業務日誌、連絡帳、送迎時の引継ぎを元に打ち合わせを実施している。
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		翌日からの日の振り返りをおこない、翌日以降の支援に引き継いでいく。
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	記録を職員全員で行い、共有している。
	22	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		
関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3	児童発達管理責任者を中心に、連絡をとり行っている。
	24	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	2	4	
	25	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	4	必要に応じて各関係機関と連携を行っている。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	2	連絡先を保護者から確認しており、随時取れる体制を整えている。
	27	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	1	5	今年度特別支援学校に入学予定の児童がいるため、必要事項を共有し実施していく。
	28	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		6	今年度もあで初めて特別支援学校に入学する児童がいるので、必要事項を共有し実施していく。
	29	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	研修・連絡会を通して連携している。
	30	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	
	31	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		6	
	32	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	3	送迎時・連絡帳を通して情報共有をしている。
	33	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		6	個別のケースについては、必要に応じて送迎時や電話相談等で支援を実施してきたが、ペアレント・トレーニング等は実施していない。
	34	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	
	35	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		

保護者への説明責任等	36	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	送迎時・連絡帳を通して対応している。
	37	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		6	
	38	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1	保護者からの相談・申し入れに対しては、迅速かつ適切に対応している。
	39	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	1	5	定期的にブログの更新を行い保護者にアナウンスを実施している。
	40	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		個人情報の取り扱いには十分注意し、関係機関との連絡調整やケース会議など、状況に応じて必要な場合やその他保護者の方に確認の上使用している。
	41	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		
	42	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	
非常時等の対応	43	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5	1	緊急時を想定し訓練・マニュアルの見直しを随時行っている。
	44	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		定期的に避難訓練等を実施している。
	45	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		
	46	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	4	該当児童無し
	47	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	定期的実施している。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	3	該当児童は現在いません。今後、利用時に身体拘束が必要な場合は、保護者同意のもと、個別支援計画に明記し実施する。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。